

海外安全対策情報（平成24年度第4四半期）

1 社会・治安情勢

（1）1月22日、西ヌサ・トゥンガラ州スンバワ島大スンバワ市において、バリ系住民に対する地元スンバワ系住民による暴動が発生し、同市内のバリ系住民が経営するホテル、商店、民家など500件の建物が放火、破壊されました。事件の発端は、オートバイにのって交通事故死した地元住民の女性が、同乗のバリ系青年に暴行されたのではないかと噂が流れ、これに煽動された地元住民が暴徒化した由です。

（2）バリ州では、5月15日に行われる州知事選挙について、現職知事と副知事が対立候補として立候補し、それぞれの候補者が強い支持団体及び青年団等を抱えていることから、今後選挙戦が熱を帯びてくることが予想されます。そのため、4月28日～5月11日に予定されている選挙キャンペーンの期間中は大衆動員の動き等に注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）第4四半期の犯罪発生件数に関する統計は発表されていませんが、外国人が被害となる事案として、依然として、スリ、強盗、空き巣が多く発生しています。

（2）邦人被害事案

1月中旬頃、在留邦人の銀行口座から、何者かが不法に預金を引き出す事案が発生しました。その状況は、12月15日、被害者が、バリ島のングラ・ライ空港にあるATMコーナーに設置しているBNI銀行自動預金支払機からCDカードを使用して預金を引き出した際、何者かが同ATMに違法に取り付けていた番号読み取り機（カード挿入口の外側に薄いカバーのような器具を取り付けたもの）及び隠しカメラ（左右の壁に設置されていることが多く、普通の監視カメラに類似）によって、預金情報及び暗証番号を盗み、その後、犯人らは、その預金情報を元に新たな別のカードを作成して1月中旬頃にマレーシアのATMから9回にわたり被害者の預金を引き出したとのことです。被害を受けた邦人は、BNI銀行からの連絡により、被害に遭っていることが判明しました。

（3）邦人以外の被害事案

2月18日、南クタ地区において、韓国人の住居に強盗が侵入し、同韓国人が刃物で刺される事件が発生しました。

3 テロ・爆弾事件発生状況

1月4日から5日にかけて、西ヌサ・トゥンガラ州スンバワ島において、中部スラウェシ州ポソ県から逃走したテロ容疑者グループを追跡していた国家警察の対テロ特殊部隊が武装集団と撃ち合い等となり、テロ被疑者計5名を射殺する事件が発生しまし

た。警察は、スンバワ島ドンブ県での事件現場でパイプ爆弾5本及び爆弾製造のための原料を大量に押収し、テロ容疑者が観光客やホテルをテロの標的にしていたため内偵を進めていた旨明らかにしています。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

最近、邦人旅行者等から、ウブド周辺において、日本語が堪能なインドネシア人から言葉巧みに誘われて、高価な品物を購入してしまったり、バリの儀式を本来より法外な値段で受けてしまったりして詐欺被害にあったとの相談が寄せられています。当地では、警察に相談しても、詐欺事案としての立件が難しい場合もあり、このような事例が発生していることを踏まえて、日本語が堪能であるからと言って安心せず、同様の被害に遭わないような注意が必要です。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

バリ州内の道路事情について、現在、約2割の道路が修繕の必要な状態にある由ですが、修繕のための必要な予算が不足しているとのことです。また、本年のAPEC首脳会議に向けた空港からヌサ・ドゥア地区への高速道路建設や主要幹線道路の工事も行われていますが、これらの工事が完了する予定の7月頃までは、交通渋滞が継続することが見込まれ、交通事故も発生しやすい状況と言えます。

以上